

JAGT

**日本ゲシュタルト療法学会第2回学術大会
プログラム**

大会テーマ

**「ゲシュタルト療法のこれまでの軌跡と
これからの発展に向けて」**

開 催:2011年10月22日(土)～10月23日(日)

会 場:エルおおさか(大阪府立労働センター)

大会長:岡本茂樹 (立命館大学産業社会学部・大学院応用人間科学研究科)

第2回大会に寄せて

日本ゲシュタルト療法学会第2回学術大会
大会長 岡本 茂樹

本年度の日本ゲシュタルト療法学会は大阪で開催することになりました。大会テーマは「ゲシュタルト療法のこれまでの軌跡とこれからの発展に向けて」といたしました。今回の学会の目的のひとつは、テーマであるゲシュタルト療法の「これまでの軌跡」として、S. F. クロッカー博士にゲシュタルト療法の源流となる「現象学」の視点から基調講演を行っていただき、本療法を实践するうえでの理論を体験的に学ぶところにあります。そして、もうひとつの目的は、「これからの発展に向けて」として、ゲシュタルト療法が多様な領域において多用な形で活用されていることを研究発表から学び、本療法の今後の発展に向けて検討するところにあります。

一日目の基調講演と研究発表、ならびに二日目のワークショップや部会発表などを通じて、会員の皆様は本療法に対する理解を深めるとともに、会員以外の実践家の皆様には広くゲシュタルト療法を知っていただきたいと思っています。

本大会が実りあるものとなりますよう、皆様方のご参加をお願いいたします。

大会プログラム 1日目

開催日	時間	会場	内容
10/22 (土)	09:30	本館 5F	受付開始
	10:00	研修室 2	開会式 大会長 岡本茂樹 (立命館大学産業社会学部)
	10:10 ～11:50		基調講演 「ゲシュタルト療法における現象学—理論と体験」 シルビア・F・クロッカー博士 通訳/岡田法悦 現代ゲシュタルト療法は、現象学、我—汝の関係、場の理論、変容の逆説的な理論の4つを基本にして実践されています。その中でも筆頭にあげられるのが現象学です。プラトンやアリストテレスを含め、西洋哲学の流れの中から必然的に生まれた現象学。ゲシュタルト療法はその流れを根っこにして成長し結実した療法です。フッサールの「3つのルール」をはじめとして、現象学はゲシュタルト療法の実践に不可欠な基盤といえるでしょう。 シルビア・F・クロッカー博士は、数々の大学で哲学を教えてこられました。難しい哲学をわかりやすく解説することにかけては定評があります。この講演では、講義だけでなく体験も含め、ゲシュタルト療法の理解を深める解説をさせていただきます。
	12:00 ～12:40		2011 年度総会 大会長 岡本茂樹 (立命館大学産業社会学部) ※総会出席は会員のみです。
	13:30		受付開始
	14:00 ～15:30		研究発表 〔第1部〕 座長:河村葉子 (ハートフリースペース) ■「福祉実習事後指導において場面の再構成にロールプレイとゲシュタルトワークを用いた試み」 大山博幸(十文字学園女子大学) ■「ゲシュタルトセラピーの気づきに関する考察～新しい分類の提案～」 江夏 亮(カリフォルニア臨床心理大学院東京サテライトキャンパス/江夏心の健康相談室) ■「レジャー施設における事故後のスタッフケアへのゲシュタルト療法活用例」 檀野竹美(ゲシュタルト・アソシエイツ・ジャパン) ～ 15:30～15:50 休憩 ～
	(休憩) 15:50 ～16:50		〔第2部〕 座長:江夏亮(カリフォルニア臨床心理大学院東京サテライトキャンパス) ■「ビジネス産業分野における活用実践事例」 ビジネス産業部会 藤原勝 ■「子どもに関わる人のためのワークショップ実践事例」 教育部会 定行俊彰
	17:15	別会場	懇親会

大会プログラム 2日目

10/23 (日)	09:30	各会場	受付開始
	10:00 ~12:00	本館 2F	体験的ワークショップ 1 (定員 35 名/午前午後入れ替え制)
		文化プラザ	シルビア・F・クロッカー博士 通訳/楯江里奈
		南館 7F	AAGT発表報告: ※2010 年 AAGT(国際ゲシュタルト向上学会)での発表内容です。
		南 73	「接触境界の階層」 岡田法悦(ゲシュタルトインスティテュート)
	13:00	各会場	受付開始
	13:30 ~16:00	本館 2F	体験的ワークショップ 2 (定員 35 名/午前午後入れ替え制)
文化プラザ		シルビア・F・クロッカー博士 通訳/楯江里奈	
	南館 7F	体験的ワークショップ 3: 教育関係者、保護者等の方ぜひご参加ください。	
	南 73	「子どもと関わるすべての人のための気づきのワークショップ」 定行 俊彰	
16:10	本館 2F 文化プラザ	閉会式	

【基調講演】 シルビア・F・クロッカー博士 Sylvia Fleming Crocker, Ph.D



哲学で博士号、カウンセリングと比較宗教学で修士号を持ち、いくつかの大学で哲学を教える。ポルスター夫妻からゲシュタルトのトレーニングを受け、1980年よりゲシュタルトセラピストとして活動する。AAGT(ゲシュタルトセラピー発展学会)の設立メンバーで、理論開発委員会委員長を6年間務める。

多数の論文および、ゲシュタルトセラピー理論と方法、その基礎となる価値観を包括的に解説した「良い人生を生きる:ゲシュタルトセラピー(1999、GIC出版)」を著す。

現在、ゲシュタルトセラピスト/トレーナーとしてワイオミング州、ララミーで開業している。ゲシュタルトセラピーの豊かさとパワーを確信し、その理論と方法のトレーニングを通じ、メンタルヘルスの分野へのゲシュタルトの影響を広めることに、より多くの時間を捧げようとしている。

研究発表抄録集 1

[第1部]

- 「福祉実習事後指導において場面の再構成にロールプレイとゲシュタルトワークを用いた試み」
大山博幸 (十文字学園女子大学)
- 「ゲシュタルトセラピーの気づきに関する考察～新しい分類の提案～」
江夏 亮 (カリフォルニア臨床心理大学院東京サテライトキャンパス/江夏心の健康相談室)
- 「レジャー施設における事故後のスタッフケアへのゲシュタルト療法活用例」
檀野竹美 (ゲシュタルト・アソシエイツ・ジャパン)

研究発表 1**実習事後指導における省察的学習の手立てとしてのロールプレイにゲシュタルト療法のスキルを用いた試み**

大山 博幸 十文字学園女子大学

1. あらまし

学外実習を行った実習生にとって、実習経験のリフレクション（振り返り）を促すことは、学習の内実をより確かなものにするための重要な契機である。リフレクションをいかに行うかが、実習における学習の質を決定づけるといってもよい。また社会福祉士等福祉専門職の養成課程で実施される実習（以下福祉領域での実習）の実習事後指導において、ロールプレイはその振り返りの手法としてしばしばグループスーパービジョンで用いられ、その意義も指摘されている。

そこで、本研究では実習事後指導における省察的学習（リフレクティブ・ラーニング）の手立てとしてのロールプレイにゲシュタルト療法のスキルを用い、その意義と学習効果について明らかにすることを試みる。ゲシュタルト療法は対象者の症状の改善や対人的悩みの解消のみならず、気づきの増大や自己成長の促進に寄与する。本研究はゲシュタルト療法の教育領域での適用における有用性が示唆されたと考えられる。

2. 研究の目的

実習事後指導における省察的学習の手立てとしてのロールプレイにゲシュタルト療法のスキルを用い、その意義と学習効果について明らかにすることを試みる。

3. 研究の手続き

1) 研究の対象と手続き

対象は筆者が担当した社会福祉士養成課における学外実習（社会福祉援助技術現場実習）を実施したA女子大学生3、4年生（21～22歳）の10名である。実習はそれぞれ2010年8月～9月の間で行われた。なお実習生各々の実習期間は約14日間（90時間）であった。主な実習先は特別養護老人ホーム、母子生活支援施設、知的障害者授産施設、重症心身障害児施設などであった。各実習後、筆者が担当している実習事後指導に当たる授業（社会福祉援助技術現場実習指導）で、2010年9月24日～10月1日の間、3コマ（1コマ90分）の中でロールプレイを行った。一人当たりのロールプレイに要した時間はグループでの振り返りも含め15分から40分程度であった。本授業終了後、ロールプレイを体験してみたの気づきや所感、他のメンバーのロールプレイに参加、観察してみたの気づきや所感を自由記述によって求めた（10名中6名が回答）。また各ロールプレイ中の場面をビデオカメラによって記録（学生には研究目的で使用する事の許可を事前

った)し、後日当該ロールプレイの演技者と教師(ファシリテーター)との対話スクリプトを作成した。

2) ロールプレイの手順

- ① 実習生に実習中気になったある具体的な場面を一つ選ぶ。
- ② 実習生はその場面を教師(ファシリテーター)やグループに語る。
- ③ 教師は実習生の語りに基づいて、再構成する場面を焦点化し、その場面や場面の再現の仕方を実習生に提案する。このとき教師は実習生と共同で再構成する場面の選択と準備を行う。
- ④ その場面での登場人物(ご利用者、現場職員、実習生<その時の私>など)をグループのメンバーから選ぶ。
- ⑤ その場面を具体的に再現する。冗長にならずポイントを絞って再現する。
- ⑥ 各役割を再現してみて、感じたこと、気づいたことを味わう。教師は「今やってみてどんな感じですか?」「今あなたに何が起きていますか?」など、実習生の気づきに焦点を当てるよう促す。そこから生じた気づきや洞察をもとに、ゲシュタルト療法、SSTなどの技法を使用してさらに多様に展開し、気づきや洞察を促していく。
- ⑦ ロールプレイ終了後演技者や観察者も含めて、ロールプレイで経験したことをグループで振り返り、吟味する。

4. 結果と考察

今回は、ロールプレイ実施後の実習生(学生)の自由記述を中心に分析を行った。自由記述から多様な気づきが得られた報告が確認された。特に、実習中のその場面での自分自身の気持ちがり確になり腑に落ちなかった感情が完了した、またかかわったご利用者の気持ちの理解がよりはっきりしたという報告が見られた。しかしながら自己覚知の深まりには個人差があるように思われた。また個々の学生の実習経験がグループ内でより明確に共有されたようであった。

本研究はゲシュタルト療法の教育領域での適用における有用性が示唆されたと考えられる。今後は学習者であるロールプレイ体験者の学習効果をより明らかにしていくことが必要である。またゲシュタルト療法の思想とスキルを取り入れたロールプレイを実施する教師の役割や機能により言及する必要がある。

5. 参考文献

- ・大山博幸他 ICTを活用した福祉領域の学外実習におけるリフレクション支援と評価 日本教育工学会論文誌 34増刊号 2010 p29-32

ゲシュタルトセラピーの気づきの新しい分類と統合的枠組みについて

江夏 亮 カリフォルニア臨床心理大学院東京サテライトキャンパス／江夏心の健康相談室

1. 問題・目的

ゲシュタルトセラピー（以後 GT と記す）以後、様々な心理療法が発展してきた。この発表では、それらの療法を GT に取り入れるため、新しい気づきの分類とあらたな統合的な枠組について考察した。

2. 考察

(1) 中間領域の分類

筆者は GT の中間領域に対する新しいアプローチを提案し、従来 GT の適用が難しかったうつ病のクライアント（以後 CL と記す）に対しての事例研究を報告した。その中で、中間領域の気づきを思考・認知領域と想像領域に分け、思考・認知領域に対して here and now で気づきの探索を行った。思考に対して here and now の気づきを促す技法は、これまでの GT では行われなかったやり方ではあるが、認知行動療法で言うホットなスキーマを認知行動療法単独で行うより、より直接的に「今、ここで」明らかにする事ができた。そして、人は自分の思考に対しても十分に気づいている状態でなく、思考への気づきを増やすことが治癒に繋がるケースを報告した。

中間領域のもう一つの領域、想像領域は新たにイメージ的想像領域と名付けるが、ここではイメージとして語れる想像が行われる。従来の GT では、この領域で行う作業はファンタジートリップが中心であった。しかし、他の心理療法を検討すれば、サイコシンセシス、イメージ療法等が行われる領域で、作業内容は思考・認知領域とは異なる。

従って、心理療法の視点からすると、中間領域を思考・認知領域とイメージ的想像領域に区別する事は意味があるだけでなく、必須であると考えられる。

(2) 気づきのレベルの分類

同様に、他の心理療法で作業を行う領域を基に、GT の気づきの領域をより細かく分類して表 1 を作成した。また、それぞれの領域で行われる心理療法を一つ示した。この表によると GT の気づきの領域の特徴をより理解できるのに加え、気づきの領域が異なると、心理療法としての作業が異なる様子に気づける。

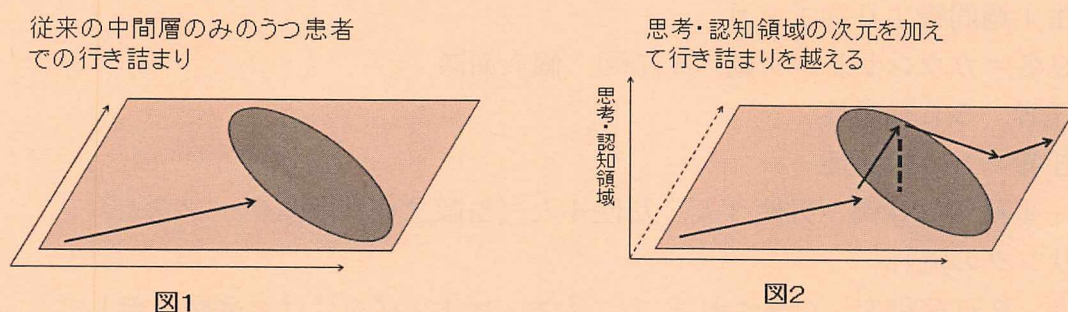
(3) 他療法を取り入れる新しい枠組み

1) セラピーを記述する次元

表 1 のように、気づきをより細かく区別すると、セラピーの記述の次元を増やす事となり、セラピーの行き詰まりをより少なくできる可能性がある。これを図解すると次の通りである。図 1 は従来のうつ患者で GT が行き詰まった状態である。いわば二次元で行き詰まっているとする。これに新しい次元として思考・認知領域を加えてセラピーを行うと、従来の行き詰まりのポイントでも、図 2 のように新しい三次元目の方向を利用して行き詰まりを越えられる。これは思考・認知領域の加わった一例であるが、他の新しい領域の場合でも、同様に、選択の自由度が増す事を予想できる。

発表者の新しい分類	ゲシュタルト療法での扱い	ゲシュタルト療法での対処法の有無	知見を取り入れる候補となる心理療法
外層（対人関係、家族、社会）	外層	「家族」、「社会」は少ない	家族療法
行動（行為）	気づきの領域には含まれないが、新しい行動実験として扱う	少ない	行動療法
身体感覚・動作、生物学的側面	内層	対処法あり	ソマティック心理学
感情、気持ち	内層	対処法あり	感情焦点化療法
記憶	内層	対処法あり	PET
認知・思考	中間層	少ない	認知行動療法
イメージ的想像	中間層	少ない	サイコシンセシス
スピリチャル	パーソナリティーモデルの核に相当	少ない	スピリチャルな実践法

表 1



2) Here and now

Here and now はGT 以後、様々な療法で明示的に或いは暗黙的に使われる技法である。これを単に、過去も未来もなく「今、ここで」扱う技法と捉える所から考察を進めると、例えば、CL が過去の出来事を here and now で語りだし、その時の状況を再体験し始めると、CL 中では、その時の心理的状況と同じ心理的状況が再現され始めると考えられる。これを here and now の原則と名付けることにする。

3) ホメオスタシス

従来のGT は身体のメッセージが一つの重要な側面であった。しかし、表1 を参考にすると、メッセージを受け取る領域は拡張される。従って、身体を連想するホメオスタシスという概念の代わりに、トランスパーソナル心理学で使われる、ハイヤーセルフ（高次の自己）という概念が、同じ文脈でより適切と考えられる。

4) 前景と背景、気づきのシフト、気づきの固着

前景・背景の考え方は従来と同じであり、成長が阻害されるのは、前景・背景が柔軟に変化しない時であり、気づきが自由にシフトしないのが原因と考える。

3. 結論

新しい気づきの分類をベースにすれば、従来のGT の概念を一部修正、拡張する事で、GT 以後の心理療法を統合的にGT に加えられる可能性を見出した。

レジャー施設における事故後のスタッフケアへのゲシュタルト療法活用例

檀野竹美 ゲシュタルト・アソシエイツ・ジャパン

1. 背景

レジャー施設において、スタッフ指導のもと、施設内で団体活動中に人命にかかわる事故が発生。施設運営会社より、スタッフのショックが大きいため、主要スタッフ全員のカウンセリング依頼があった。

2. 目的

スタッフは事故による個人的にも不安定な精神状態にありながら、当事者として、事故調査委員会、マスコミの対応等、社内外において精神的に張り詰めた状況に置かれているため、早い段階での心のケアの実施を行い、現実の対応に耐えることができる状態であるかの見極め、ケアが必要なスタッフ、長期にわたっての精神的なケアの今後の方針決定ための見極めを行う。

3. 関わりの時期

事故発生1週間後より約1ヶ月

【対象】 9名＝カウンセリング延べ17回 個人面談

施設責任者 50代男性

指導責任者 30代男性

指導者・事務 20代 男性3人 女性4人（当該プログラムチーフ含む）

4. カウンセリングの流れ

- 初回は、30分程度。全員これまでにカウンセリングを受けた経験、無し。
- はじめに、「事故の経緯について説明する必要はないこと」「主に気持ち・感覚・体調面の話をしてもらうこと」を伝えた。
面談内容は、事故後1週間時点で、「事故当日から今までを過ごしてきて、どのような気持ちがしているか」「自分にとって印象的な場面や出来事」「今気になっていること」「眠れないなどの体の不調」を脈絡など気にせず、自由に話してもらった。結果、20代の男女は自分の感情・感覚に沿って“現在の気持ち”を感じることができた。
- 初回面談により、事故当時の坦務、立場に関わらず、“反省”“申し訳ない気持ち”“残念な気持ち”を全員が持っているとともに、「事故に関する話を聞かれるかもしれないために、離れて暮らす実家の家族や親しい友人に連絡を取る気にならない、話したくない」と語る対象者が多かった。感情の揺れの大きい人もかなり見られた。
- “気になっている場面”や“あの時こうしたら”という会話の中から、話してみても気持ちを感じてもらい、エンプティチェア手法などを織り交ぜて、カウンセリングを進めた。

【初回の対象者へのアプローチ】

- “気になっている場面””あの時こうしたら”と聞こえてきた場合、「その時に戻ることができますか？」と確認した上で“そのとき”のシチュエーションと気分に戻って、改めて行動や会話、気持ちを再体験してもらった。

《例》事故に関係する相手と向き合い、事故当時は自分個人が願ってもできなかった反省とお詫びの気持ちを伝えた⇒取り返しはつかないことだが、今までは自分のできることは無いと思っていた仕事の中から、今後自分でできることを探してやっていかなければいけないと気づいた。

《例》事故から3時間ほど、何もできないで状況を見守っているしかなかったが、今だったら、自分から声を出してみんなを励まし、引率者にも協力の呼びかけをする⇒実際に思うようにやってみる⇒次があつてはいけないが、実際やってみたことで落ち着いて対処できる自信が少し出た。

《例》付き合っている人が心配して電話をしてくれて少し話ができ、「わかってる」と言ってくれた⇒相手になって自分に声をかけてみる「君が悲しいと僕も悲しい」⇒（涙が出てきて止まらない）心配をかけると思って泣けなかった。悲しい気持ちを伝えられるかも・・・。

【2回目（2週間後）以降のアプローチ】

- 初回面談を機に個別の状況は変わった。感情的にはかなり落ち着きを取り戻し、今後の施設運営などに関心が移っている人が多くなっているが、一部、気持ちが事故の場から離れられない人もいる。状況に合わせ、その後の面談にもゲシュタルト療法を織り交ぜ継続。
- 9人の中で最も心的影響の大きかったスタッフについては、4回の面談を実施。エンプティチェア、話の中で出てくる自分の感情の再体験などのアプローチを行った。長期ケアをしていただくカウンセラーに引き継ぐ前には、事故当時から1週間ほどの忘れられない場面を絵に描き、話すことで意識化。自分自身がまだ引きずっている場面、その気持ちを自身で確認してもらった。

5. ゲシュタルト療法活用のメリット

- 事件、事故、災害などにおいて、被害者や被災者への心理ケアを行うことはある程度常識となっているが、このケースのように故意でない事故を起こした当事者へのケアは行われな（後回し）なのが現状である。
- 今回のように、早い段階で自己の感情や気づきにくい心の痛みなどにゲシュタルト療法でアプローチすることにより、短時間で自分の中で起きていることに気づくことができた。自己の感情処理ができ、その仕方を身につけることで、当事者として“しなければならない”業務や対外的な対応に真摯に向き合うことが実践として行えた。
- 自らの中の気づきを早く得ることが可能なゲシュタルト療法の有効性を提示できる活用場面であることを報告する。

研究発表抄録集 2

〔第2部〕

- 「ビジネス産業分野における活用実践事例」 ビジネス産業部会 藤原勝
- 「子どもに関わる人のためのワークショップ実践事例」 教育部会 定行俊彰

ビジネス産業分野における実践事例

藤原 勝 日本ゲシュタルト療法学会ビジネス産業部会

1. ビジネス産業部会のミッションと活動内容

ビジネス産業界にゲシュタルト療法を広げる。そのために

- (1) 国内外のビジネス産業会への応用事例の探索
- (2) ビジネス産業部会の会員による各組織への応用事例共有
- (3) ビジネス産業界対象のトレーニング企画と実施

2. この1年間の活動内容

- (1) 国内外のビジネス産業会への応用事例の探索

<英国のゲシュタルト療法実践家 Dr. Talia Bar-Yoseph Levine と情報交換>

①日時；3月7日(月) 17:00～20:00

②出席者；岡田、田中、壇野、長尾、水野、宮木、守谷、山崎、藤原
(アイウエオ順、敬称略)

③内容；

a) ゲシュタルト療法は哲学である(「今、ここで」)。

b) 欧州での流通業への応用事例

職場単位で、「チェックイン」を実施。参加者の「今ここで」体験を共有して、チーム作り、個人および職場の問題解決を実現する

c) ファシリテーターの役割

参加者が「今、ここで」を体験できるよう一人ひとり、および各人の関わり方に焦点を当てて行く

- (2) ビジネス産業部会の会員による各組織への応用事例共有

対象	ファシリテーター	内容
薬剤師	宮木	患者対応研修の中で、視点を広げるためのワンポイント活用、「ルビンの杯」など。
企業従業員	小林	傾聴訓練に、非言語の表現の見方をワンポイント活用。
未就業者への就職支援	白坂	心理学による自律心養成。ゲシュタルトを使って個人の問題解決。
企業幹部	守谷	気づきによる自己成長。
企業部署		クッキングによるチームビルディング。
企業管理職	藤原	コーチングに一人エンプティチェア(無言)活用。

(3) ビジネス産業界対象のトレーニング企画と実施

- ①ねらい；ビジネスリーダーが自己洞察を深め、リーダーとして必要な生き方に変える
- ②内容；人間力強化道場
- (1)組織の中で、自分がまたは組織が行き詰っている点をクリアにする
 (2)行き詰まりの元(未完了)を明確にする。
 (3)行き詰まり(未完了)を解決する(身体感覚を使って)
- ③実施日時；9月3日(土)13:30~4日(日)18:00(1泊2日)
- ④参加者；ビジネスリーダー4名
 講師；守谷、藤原 スタッフ；白坂、田中、長尾
- ⑤実施結果
- (1)参加者全員、自己・組織の抱えていた問題(行き詰まり)が明確になり、解消するきっかけ、気づきが得られた。
 (2)自己の内在する資質に気づき、自信を深められた。
- ⑥プロセスの特徴
- (1)ペンタグラムによる組織の現状、自己の現状に気づく
 (2)個人の行き詰まりに気づく

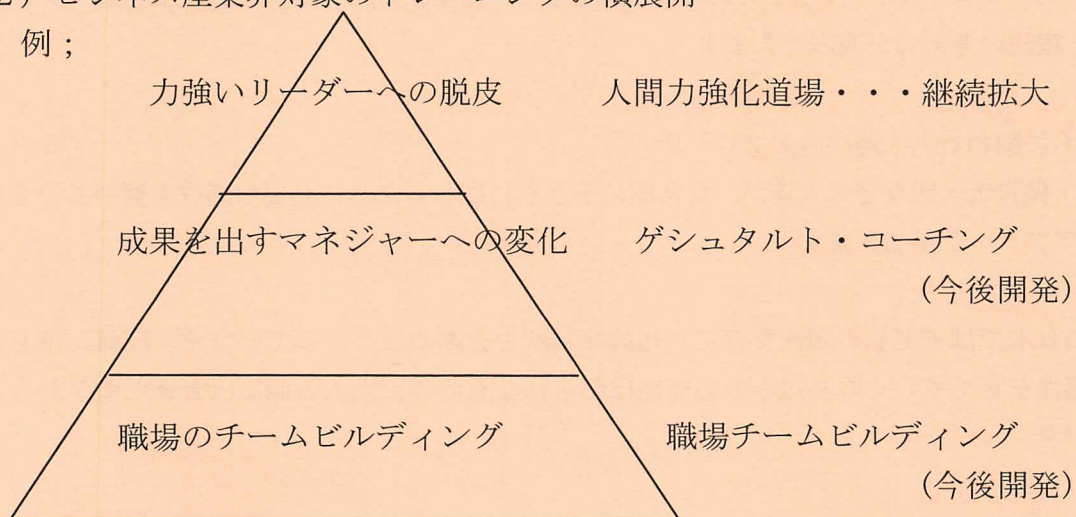
上記のステップは組織人の問題解決として非常に効果があることが確認できた。

3. 今後の課題

- (1) ビジネス産業部会の会員による各組織への応用事例共有
 ⇒活用事例集作成

(2) ビジネス産業界対象のトレーニングの横展開

例；



子どもと関わる人のためのワークショップ実践事例

定行俊彰 有村靖子 中西徹 日本ゲシュタルト療法学会教育部会

1 教育部会の目的

- (1) ゲシュタルト療法の考え方や方法論が、教育・子育て・保育など子どもを育てていく分野で適応できることを広げていく。
- (2) 子どもに関わる大人達を対象として、ゲシュタルト療法の考え方を基盤としたワークショップを開催する。
- (3) ゲシュタルト療法が教育現場でどのように活用でき、どんな効果があるかについての実践例の紹介と検証を行っていく。

2 教育分野へのゲシュタルト療法のアプローチ

教育へのアプローチの対象は「子ども」と「子どもに関わる大人」の2つがあります。

(1) 子どもへのアプローチ

学校教育では、「自分自身への気づき」「選択と責任」「すべき から する への変換」「集団へのアプローチ」「今ここでの等身大の自分」「他者との関わり」など、様々なゲシュタルト療法の考え方が適応できます。

(2) 子どもに関わる大人達へのアプローチ

教師・保育士・親など大人達が、日常的に子どもに関わるために必要な感性を磨いていくためのアプローチができます。

今の日本では子どもの知性を育て、知的な判断力を高めようとしています。反面、子どもの感性を育てていく取り組みの必要性は語られるものの、大人の側には大きな壁があるようです。

それは、感性より知性を重視する現在の日本では、当然のことです。

それに対して、大人が自分自身の気づきを深めながら、人として本来もっている感性を磨くことが必要です。

このことに対してゲシュタルト療法の考え方が広く適応できます。

3 教育部会主催

子どもと関わる人のための気づきのワークショップワークショップ実施報告

日時：場所 2011年7月30日 土曜日 10:00から16:00
鹿児島市伊敷公民館 和室

参加者 保健師：スクールソーシャルワーカー：養護教諭：医療機関カウンセラ
主任児童員 心理系大学院生：就職支援カウンセラー：母親：看護師 会社員
合計 21名

内容 子どもと関わるには、大人自身の感性を耕していくことがとても重要。
そこで、子どもに対処する方法論を学ぶのではなく、子どもに関わる大人自身が自らの感性を耕し、豊かにしていく体験的ワークショップを行ないました。

(1) ボディーワーク

自分自身が何を感じているかに気づいていくために数種類のボディーワークを実施

- ・「立つ」ということについて
- ・「からだの緊張に気づく」
- ・「相手にからだを預ける」

(2) 投影

人は無意識のうちに自分自身の未完のゲシュタルトを、相手の中に見つけて、関わろうとします。それは、等身大の子どもを見ることから離れていく行為です。

ですが、なかなか、気がつかないのも投影です。さて、投影とはなにか、どのような投影をしているかについて、実習を通して気づきを深めていきました。

(3) 集中と没頭

集中と没頭は異なるものです。子どもに「集中しなさい」と大人はよく声を掛けます。しかし、そのことは子どもにどのような影響を与えるのでしょうか？

成果と課題

- ・継続的な実施が望ましい。
- ・日本各地で実施されることで、ゲシュタルト療法の適応が子どもを育てていくのに有効であることが広がっていく。

日本ゲシュタルト療法学会 第2回学術大会

～第1報～

本年度の学術大会は大阪で開催します。みなさまの日頃の実践に役立つ実りある大会を一緒に創っていきましょう。研究発表者を募集します。裏面をご参照のうえお申込みください。またシルビア・F・クロッカー博士によるゲシュタルト療法理論・哲学的背景についての特別講演を予定しています。ご期待ください。

日 程 10月22日(土) 10:00～17:00
10月23日(日) 10:00～16:00
会 場 エルおおさか(大阪府立労働センター) <http://www.l-osaka.or.jp/>
大阪市中央区北浜東3-14/TEL06-6942-0001

【プログラム(予定)】

●10月22日(土) 10:00～開会式

10:10～11:50 特別講演 S・F・クロッカー博士
12:00～12:40 2010年度総会
12:40～14:00 休憩
14:00～17:00 研究発表
18:00～ 懇親会(懇親会費5,000円/会場未定)

●10月23日(日) 10:00～12:00 S・F・クロッカー博士ワークショップ

個人発表「接触境界の階層」(岡田法悦)
部会ワークショップ
ファシリテーター認定セッション

12:00～13:30 休憩

13:30～16:00 S・F・クロッカー博士ワークショップ

部会ワークショップ
ファシリテーター認定セッション

参加資格 ゲシュタルト療法に関心のある方ならどなたでも参加していただけます

参加費 事前申込 会員5,000円 一般6,000円 学生3,000円

当日受付 会員6,000円 一般7,000円 学生4,000円

※学生料金は学生が本業の方が対象です。当日学生証をご提示ください。

振込先 三井住友銀行 横浜駅前支店 普通預金 口座番号 8863229 日本ゲシュタルト療法学会

※懇親会出席の方は懇親会費5000円を併せてお振込みください。

申込方法 「学術大会申込」「懇親会出欠」を会員は会員番号と氏名、一般の方は氏名、住所、TEL、あればメールアドレスを電話・郵送・FAXにてお申込みください。ホームページから「問合せフォーム」もご利用ください。<http://www.ja-gestalt.org/> 研究発表登録者は自動的に参加受付とします。



哲学で博士号、カウンセリングと比較宗教学で修士号を持ち、いくつかの大学で哲学を教える。ポルスター夫妻からゲシュタルトのトレーニングを受け、1980年よりゲシュタルトセラピストとして活動する。AAGT（ゲシュタルトセラピー発展学会）の設立メンバーで、理論開発委員会委員長を6年間務める。

多数の論文および、ゲシュタルトセラピー理論と方法、その基礎となる価値観を包括的に解説した「良い人生を生きる：ゲシュタルトセラピー（1999、GIC出版）」を著す。

現在、ゲシュタルトセラピスト／トレーナーとしてフィオミング州、ララミーで開業している。ゲシュタルトセラピーの豊かさとパワーを確信し、その理論と方法のトレーニングを通じ、メンタルヘルスの分野へのゲシュタルトの影響を広めることに、より多くの時間を捧げようとしている。

【研究発表募集要項】 発表者を①演題登録→②発表抄録提出の手順にて受付します。

1. 演題登録期間 2011年6月20日（月）24時 受付終了
2. 演題登録方法 ホームページの問合せフォームから次の内容をお送り下さい。
「研究発表登録申込み・会員番号・氏名・連絡先・演題」（演題タイトルは仮で構いません）
3. 発表抄録原稿締切 2011年8月20日（土）消印有効
4. 発表抄録原稿は7.の作成要領にて作成後、メール（添付ファイル）で学会事務局までお送りください。Email jagt@ja-gestalt.org
5. 発表者について
発表者は、演題締め切りまでに本学会会員であることが必要です。会員でない方は日本ゲシュタルト療法学会事務局までお問い合わせいただいた後、学会入会の手続きをおとり下さい。
6. 発表方法
一人当たり発表時間は30分とします（基本は発表20分質疑応答10分です。この形式外での発表をご希望の方は登録申込に書き添えてください）。発表時に資料を配布される場合は、50部程度をご用意ください。口頭発表に際してはPowerPoint（バージョンは後日お知らせ）の利用が可能です。
7. 発表抄録の作成要領 発表抄録原稿は以下の作成要領に沿って作成してください。
 - A4版ワープロ用紙（白紙）を縦置きにして、文字方向は横書きとします。
 - ワードのページ設定から上下左右の余白を20mmに設定してください。
 - 文字数と行数を指定で、文字数40字、行数40行に指定してください。
 - フォント設定からMS明朝体、12ポイントを指定して作成してください。
 - タイトル・1行空けて氏名・1行空けて所属を明記し全2ページ以内とします。

日本ゲシュタルト療法学会 第2回学術大会

～第3報～

～ゲシュタルト療法のこれまでの軌跡とこれからの発展に向けて～

日 程 10月22日(土)10:00～17:00

10月23日(日)10:00～16:00

会 場 エルおおさか(大阪府立労働センター) <http://www.l-osaka.or.jp/>

大阪市中央区北浜東3-14/TEL06-6942-0001

◆ 大会に寄せて ◆◆ ◆

第2回学術大会大会長 岡本茂樹

(立命館大学 産業社会学部大学院応用人間科学研究科)

本年度の日本ゲシュタルト療法学会は大阪で開催することになりました。大会テーマは「ゲシュタルト療法のこれまでの軌跡とこれからの発展に向けて」といたしました。今回の学会の目的のひとつは、テーマであるゲシュタルト療法の「これまでの軌跡」として、S. F. クロッカー博士にゲシュタルト療法の源流となる「現象学」の視点から基調講演を行っていただき、本療法を実践するうえでの理論を体験的に学ぶところにあります。そして、もうひとつの目的は、「これからの発展に向けて」として、ゲシュタルト療法が多様な領域において多様な形で活用されていることを研究発表から学び、本療法の今後の発展に向けて検討するところにあります。

一日目の基調講演と研究発表、ならびに二日目のワークショップや部会発表などを通じて、会員の皆様は本療法に対する理解を深めるとともに、会員以外の実践家の皆様には広くゲシュタルト療法を知っていただきたいと思っています。

本大会が実りあるものとなりますよう、皆様方のご参加をお願いいたします。

参加資格 ゲシュタルト療法に関心のある方ならどなたでも参加していただけます

参加費 事前申込 会員5,000円 一般6,000円 学生3,000円

当日受付 会員6,000円 一般7,000円 学生4,000円

※学生料金は学生が本業の方が対象です。当日学生証をご提示ください。

振込先 三井住友銀行 横浜駅前支店 普通預金 口座番号 8863229 日本ゲシュタルト療法学会

※懇親会出席の方は懇親会費5000円を併せてお振込みください。

申込方法 「学術大会申込」「懇親会出欠」を会員は会員番号と氏名、一般の方は氏名、住所、TEL、あればメールアドレスを電話・郵送・FAXにてお申込みください。ホームページから「問合せフォーム」もご利用ください。

<http://www.ja-gestalt.org/>

※大会プログラムは裏面をご覧ください。

【基調講演】 シルビア・F・クロッカー博士 Sylvia Fleming Crocker, Ph.D



哲学で博士号、カウンセリングと比較宗教学で修士号を持ち、いくつかの大学で哲学を教える。ポルスター夫妻からゲシュタルトのトレーニングを受け、1980年よりゲシュタルトセラピストとして活動する。AAGT(ゲシュタルトセラピー発展学会)の設立メンバーで、理論開発委員会委員長を6年間務める。

多数の論文および、ゲシュタルトセラピー理論と方法、その基礎となる価値観を包括的に解説した「良い人生を生きる：ゲシュタルトセラピー(1999、GIC出版)」を著す。

現在、ゲシュタルトセラピスト/トレーナーとしてウィオミング州、ララミーで開業している。ゲシュタルトセラピーの豊かさとパワーを確信し、その理論と方法のトレーニングを通じ、メンタルヘルスの分野へのゲシュタルトの影響を広めることに、より多くの時間を捧げようとしている。

日本ゲシュタルト療法学会(JAGT) TEL045-752-1759/FAX045-752-1859
〒235-0023 横浜市磯子区森1-10-9-201 ハートフリースペース内

JAGT第2回学術大会

大会テーマ：ゲシュタルト療法のこれまでの軌跡とこれからの発展に向けて

開催日	時間	会場	プログラム
10/22 (土)	09:30	本館 5F	受付開始
	10:00	研修室 2	開会式 大会長 岡本茂樹 (立命館大学産業社会学部)
	10:10 ～11:50		基調講演 「ゲシュタルト療法における現象学—理論と体験」 シルビア・F・クロッカー博士 通訳/岡田法悦 現代ゲシュタルト療法は、現象学、我—汝の関係、場の理論、変容の逆説的な理論の4つを基本にして実践されています。その中でも筆頭にあげられるのが現象学です。プラトンやアリストテレスを含め、西洋哲学の流れの中から必然的に生まれた現象学。ゲシュタルト療法はその流れを根っこにして成長し結実した療法です。フッサールの「3つのルール」をはじめとして、現象学はゲシュタルト療法の実践に不可欠な基盤といえるでしょう。 シルビア・F・クロッカー博士は、数々の大学で哲学を教えてこられました。難しい哲学をわかりやすく解説することにかけては定評があります。この講演では、講義だけでなく体験も含め、ゲシュタルト療法の理解を深める解説をして下さいます。
	12:00 ～12:40		2011 年度総会 大会長 岡本茂樹 (立命館大学産業社会学部) ※総会出席は会員のみです。
	13:30		受付開始
	14:00 ～15:30		研究発表 【第1部】 座長:河村葉子 (ハートフリースペース) ■「福祉実習事後指導において場面の再構成にロールプレイとゲシュタルトワークを用いた試み」 大山博幸(十文字学園女子大学) ■「ゲシュタルトセラピーの気づきに関する考察～新しい分類の提案～」 江夏亮(カリフォルニア臨床心理大学院東京サテライトキャンパス/江夏心の健康相談室) ■「レジャー施設における事故後のスタッフケアへのゲシュタルト療法活用例」 檀野竹美(ゲシュタルト・アソシエイツ・ジャパン) ～ 15:30～15:50 休憩 ～
	(休憩) 15:50 ～16:50		【第2部】 座長:江夏亮(カリフォルニア臨床心理大学院東京サテライトキャンパス) ■「ビジネス産業分野における活用実践事例」 ビジネス産業部会 藤原勝 ■「子どもに関わる人のためのワークショップ実践事例」 教育部会 定行俊彰
17:15	(未定)	懇親会 (会場によって開始時間に変更が生じますのでご了承下さい)	
10/23 (日)	09:30	各会場	受付開始
	10:00 ～12:00	本館 2F	体験的ワークショップ1 (定員 35名/午前午後入れ替え制)
		文化プラザ	シルビア・F・クロッカー博士 通訳/楯江里奈
		南館 7F 南 73	AAGT発表報告:※2010年 AAGT(国際ゲシュタルト向上学会)での発表内容です。 「接触境界の階層」 岡田法悦(ゲシュタルトインスティテュート)
	13:00	各会場	受付開始
	13:30 ～16:00	本館 2F 文化プラザ	体験的ワークショップ2 (定員 35名/午前午後入れ替え制)
南館 7F 南 73		体験的ワークショップ3:教育関係者、保護者等の方ぜひご参加ください。 「子どもと関わるすべての人のための気づきのワークショップ」 定行 俊彰	
16:10	本館 2F 文化プラザ	閉会式	

第 9 回全国ファシリテーター集会

2011 年度全国ファシリテーター集会を下記の通り開催します。1 日目の会場は研修施設で宿泊ができます。

参加ご希望の方は、内容をお読みいただき、事務局までお申し込み下さい。

2012 年

1 月 21 日(土) 13:00~17:00、19:00~21:00 MELONDIAあざみ野 中会議室

1 月 22 日(日) 10:00~16:00(予定) 新宿文化センター 和室

●MELONDIAあざみ野

<http://www.mitsubishielectric.co.jp/kenpo/hoyoujo/azamino/index.html>

神奈川県横浜市青葉区新石川 1 丁目 1-9

JR新横浜駅から横浜市営地下鉄で 20 分「あざみ野」下車 徒歩 3 分

JR東京駅から山手線で渋谷駅乗り換え 東急田園都市線で 30 分「あざみ野」下車 徒歩 3 分

●新宿文化センター

<http://www.regasu-shinjuku.or.jp/?p=309>

東京都新宿区新宿六丁目 14-1

JR・京王線・小田急線の新宿駅東口から徒歩 15 分

●募集人員: 40 名(先着順 定員になり次第締め切ります)

●参加費: 5,000 円

●宿泊費: 9,500 円(1/21 夕食、1/22 朝食込み) ※宿泊は 4~6 名の相部屋予定です。

●参加資格

JAGT 会員でゲシュタルト療法トレーニングコース(またはこれに相当するコース)を修了またはゲシュタルト療法を 250 時間以上修了している方

※ 当日のセッションでファシリテーションができるのは、参加要件を満たしたうえで 2 年以上ファシリテーターとして実践されているトレーナー希望者のみです。

※ トレーナー希望者は事前に登録が必要です。別紙「人材育成について」をご参照のうえ、同封の申請書をお送り下さい。第 8 回全国ファシリテーター集会で申請された方も、あらためて登録申請をして下さい。

●参加申込: 会員番号・氏名・宿泊の有無及び下記内容を事務局までご連絡下さい。

※ 1 日のみ参加の方は参加日、1/21 のみ参加の方は宿泊の有無と夕食の有無、両日参加でも宿泊されない方は宿泊有無と夕食の有無を必ず付記して下さい。

※ 宿泊されない方で夕食をお申し込みの場合、夕食代 1800 円です。

※ 同室希望は希望される全員の氏名をお知らせ下さい。部屋の定員に満たない同室希望の方は、別の方も同室になる場合がありますので、ご了承下さい。

JAGT 日本ゲシュタルト療法学会事務局

電話 045-752-1759 (平日 9:00~18:00 土曜 17:00 まで)

E-mail jagt@ja-gestalt.org

235-0023 横浜市磯子区森 1-10-9-201 ハートフリースペース内

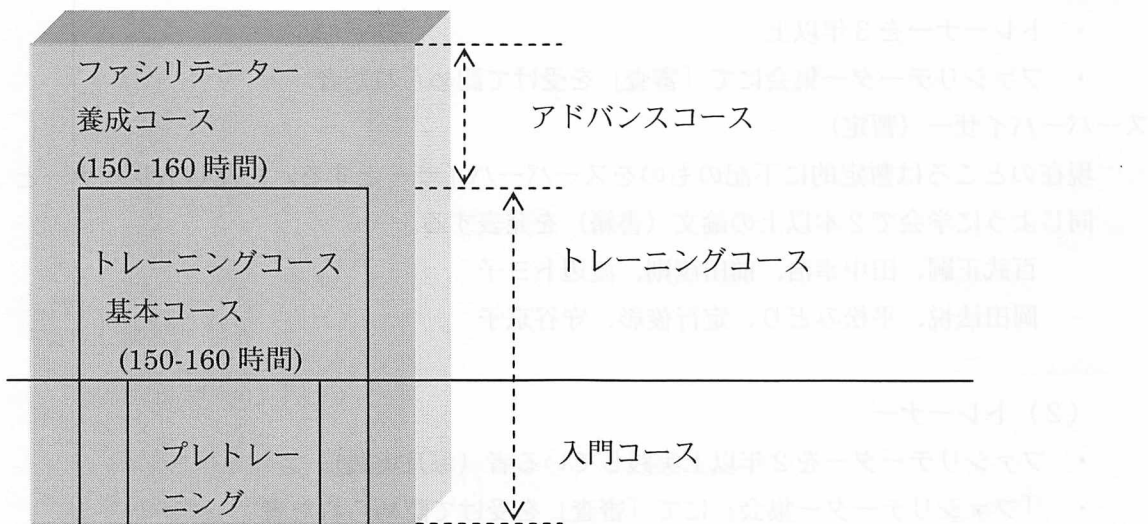
JAGT人材育成教育制度について

2011年11月15日現在

● 学会トレーニングコースおよび教育制度について

ゲシュタルト療法学会はファシリテーターの質の向上を目指し、その育成のための制度をもうける。ファシリテーターになるための教育制度は下記の手順で行う。

- 1) プレトレーニング(60時間)
 - ・ 学会の登録団体が認めたワークショップを60時間以上修了した人。
- 2) トレーニングコース(150時間～160時間)
 - ・ 学会トレーナー（学会スーパーバイザー）によるトレーニングコースを設ける。
 - ・ トレーニングコースは6名以上のトレーナー（スーパーバイザー）で構成される。
 - ・ 1年間で毎月2日間のワークショップが基本となる。隔月の場合は2年間とする。
- 3) アドバンスコース(150時間～160時間)
 - ・ トレーニングコースの上にアドバンスコース（ファシリテーター養成コース）を設ける。
 - ・ アドバンスコースは6名以上のトレーナー（スーパーバイザー）で構成される。
- 4) 現時点ではトレーニング修了者(210-220時間以上)として修了証を与える。

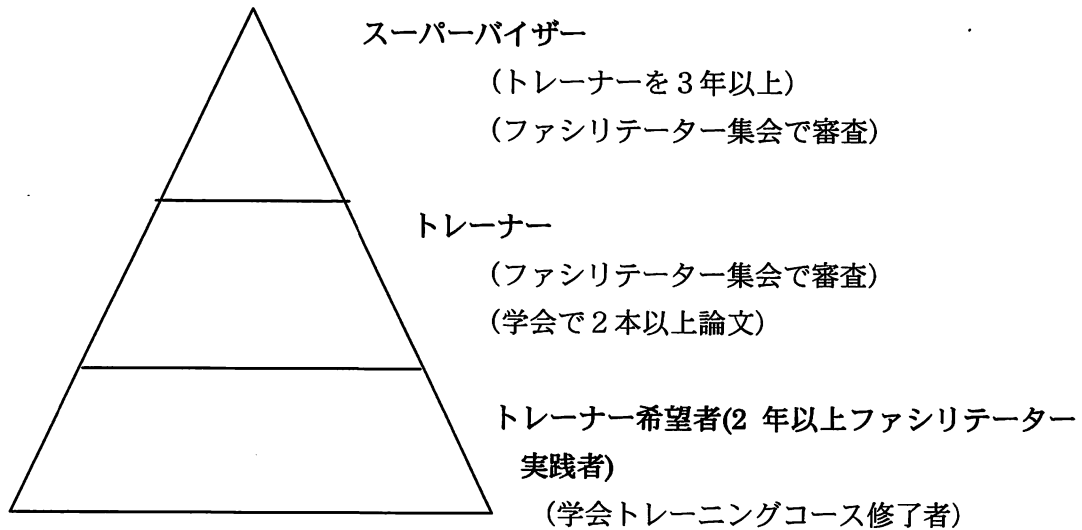


ファシリテーター養成について

- 1) 各コースを修了した者には「修了証」を発行する。
- 2) プレトレーニングは登録団体が時間を確認する。

● 学会トレーナーおよびスーパーバイザーについて

【スーパーバイザーとトレーナーの制度】



(1) スーパーバイザー

- ・ トレーナーを3年以上
- ・ ファシリテーター集会にて「審査」を受けて認められた者

スーパーバイザー (暫定)

現在のところは暫定的に下記のものをスーパーバイザーとする。ただしトレーナーと同じように学会で2本以上の論文(書籍)を発表する。

百武正嗣、田中幸治、前田茂則、渡辺トヨ子
岡田法悦、平松みどり、定行俊彰、守谷京子

(2) トレーナー

- ・ ファシリテーターを2年以上実践している者(毎月実践)
- ・ 「ファシリテーター集会」にて「審査」を受けて認められた者
- ・ 審査は「ファシリテーター集会」で三回以上のファシリテーションを行う。
- ・ 学術論文を2本以上収録された者(書籍も含む)
- ・ ファシリテーター審査委員会がこれらの基準を元に審査する。

(3) トレーナー希望者

- ・ 学会の承認するトレーニングコース修了者または250時間以上のゲシュタルト療法ワーク経験者でファシリテーターを2年以上実践している者で、別紙トレーナー希望者申請書を提出している者。

以上

JAGTトレーニングコースのトレーナー希望者申請書

※本申請はJAGTが関わるトレーニングコースのトレーナーを希望される方のもので、結果はJAGT内部でのみ運用します。ゲシュタルト・セラピスト等の資格を認定するものではありません。

※2011年現在、審査方法等を含め数年をかけて整備していくもので、内容については見直し・変更する場合がありますので、ご了承のうえお申し込み下さい。

申請日	年 月 日		
氏名		会員番号	
修了時間	申請日現在 時間	所属団体 又は現職	
申請理由			
トレーニング履歴	ゲシュタルト療法トレーニング等を受けた年・主催団体または講師・時間数を明記して下さい。		
活動履歴	ゲシュタルト療法ファシリテーター、またはゲシュタルト・アプローチを用いている活動の履歴を明記してください。		